

石川県の能登地方を中心に分布する針葉樹、能登ヒバ(別名アテ)を使った楽器が続々と誕生している。エレキギターやバイオリン、太鼓など幅広い。木材卸のフルタニランバー(金沢市)が進めるプロジェクト「アテノオト」の成果で、旗振り役が社長の古谷隆明(40)だ。

同プロジェクトは2021年から本格的に始動した。「目的は3つある。主に建材で使われてきた能登ヒバの新たな利用シーンをつくること。林業・木材業界の活性化を図ること。サステナブルな木材を楽器に使うこと」と強調する。

まず石川県内の企業とエレキギターを製作した。その後、総合楽器店大手の島村楽器(東京・江戸川)のウクレレ、浅



石川から

# 北陸 能登ヒバ楽器 誕生を指揮

北陸

野太鼓楽器店(石川県白山市)の太鼓など具内外の企業と連携してきた。能登ヒバの楽器は音響効果に優れ、音楽関係者の評価が高い。

23年は金沢交響楽団の定期演奏会で、バイオリンがお披露目された。古谷の依頼を受け、群馬県にあるバイオリンの工房「アテノオト」が作ったものだ。クラシックの弦楽器は高級な木材を使うことが多いが、輸入木材が不足する「ウッドショック」もあって、能登ヒバに注目する。同社は1904年、船が役立った」と振り返る。



フルタニランバー社長 古谷隆明さん

## 響き豊か、国産材利用促進

野太鼓楽器店(石川県白山市)の太鼓など具内外の企業と連携してきた。能登ヒバの楽器は音響効果に優れ、音楽関係者の評価が高い。

23年は金沢交響楽団の定期演奏会で、バイオリンがお披露目された。古谷の依頼を受け、群馬県にあるバイオリンの工房「アテノオト」が作ったものだ。クラシックの弦楽器は高級な木材を使うことが多いが、輸入木材が不足する「ウッドショック」もあって、能登ヒバに注目する。同社は1904年、船が役立った」と振り返る。

2010年、フルタニランバーに入社。リーマン・ショックから間もなく、営業担当として販路開拓に奔走した。その後、専務を経て令和元年にあたる19年に社長に就任した。「令和は社会課題を解決する時代。国産材の効能を届け、業界の効率化にも力を入れよう」と考えたという。

国産材の利用促進を狙って、木材の重要な製造工程である乾燥の時間を短縮できる設備を導入した。木材の割れや曲げを抑えて品質向上につなげたほか、木材の置き場所を減らして業務効率化に役立てた。県内外の木材関連の企業にもノウハウの提供を始めている。この乾燥装置が能登ヒバの楽器製作にも使われている。

同社の方向性について古谷は「木の価値を届けよう」と言い切る。木材の流通拡大だけでなく、用途も掘り起こす。「衣食住のうち住が多いが、将来は衣や食にも使えるようにしたい」と意気込む。

敬称略 (石黒和宏)

	23年3月期	24年3月期
増益・赤字幅縮小	15社	18社
減益・赤字幅拡大	15社	11社
非開示・対象外	0社	1社

(注)最終損益。24年3月期は予想。電力、金融は除く



8番一めんを展覧するハチパンは3期ぶりの黒字だった

23年3月期の純利益は前年同期と比べ増え、百貨店で洋服を購入手に入る人が増え、ファッションに販売が伸びた。チェー社の三谷商事は24年3月

富山県の新田八朗知事について「多目的というより武道の場にしたい」と話した。富山県は17日に開かれた定例会見で、J-R富山駅(富山市)近くで2027年度に開館予定の県武道館

## 武道館多目的利用に慎重

### 富山知事、計画見直し巡り

富山県の新田八朗知事について「多目的というより武道の場にしたい」と話した。富山県は17日に開かれた定例会見で、J-R富山駅(富山市)近くで2027年度に開館予定の県武道館



新田知事は会見で県武道館に言及した(17日、富山県庁)

「か」と話した。武道館は整備準備が進められていたが、人件費や資材価格の高騰で建設費が基本計画よりも増加する見込みとなり、県は基本計画の見直しを進めている。20年4月に定めた基本計画では、武道館は柔道や空手の利用のほか音楽公演など多目的に使うとされていた。建設費は21年策定の基本設計で約87億円と見込んでいたが、資材高騰の影響で約110億円となっている。

## 横山商会、自社商品ECサイト



「みつろうラップ」を使って。産業用機器の販売などを手がける横山商会(石川県白山市)は22日、環境保護や障害者支援につながる自社商品販売の電子商取引(EC)サイト「よこやま商店」を開業する。

第1弾として、ハチが分泌するみつろうを布に染み込ませた「みつろうラップ」を企画した。B to C(消費者向けビジネス)に事業領域を拡大する新規事業に位置づけられている。

野菜や食品を包むみつろうラップは、水洗いをして繰り返し使える。半年から1年程度利用できるため、環境にやさしい商品とされる。障害者のアート作品をデザインに使い、県内の障害者就業支援施設が製造を担当した。デザインは花や動物など8種類あり、価格は1430円。

環境や社会の持続可能性に配慮した「エシカル消費」の関心の高まりに対応した新ブランドとして販売する。同社は「今後もサステナブルな商品企画する」としている。ECサイトでは県内の伝統工芸品なども扱い、地域経済の活性化に役立てる。

## 各地のニュースは日経電子版で

- 北海道 大丸札幌店、売上高初の700億円超え
- 東北 宮城再エネ設備課税、営業益2割相当
- 信越 ツバメロジス、トラック輸送CO2相殺
- 中部 愛知漏水1年、老朽インフラ頼み懸念
- 四国 徳島・鳴門市、「半農半X」体験根付け
- 九州 地銀20行の前期、貸出金残高5%増



山頂のキッチンカーで地元のクラフトビールを味わう

沢町)は7月中旬から、山頂で地元のクラフトビールを飲むことができるイベントを始める。リフトで標高約1155メートルの山頂に登り、ベンチに座って信州の山々を見渡しながらビールを楽しむ。キッチンカーで軽井沢ブルワリー(同町)の「TH E軽井沢ビール樽生 クリア」を1杯900円で提供する。開催期間は7月15日〜8月31日まで、山頂までのリフト券が必要になる。中学生以上の大人の料金は往復で1800円。

軽井沢プリンスホテルスキー場は夏季でもリフトやジップラインなどのアクティビティを提供しており、家族連れの来場が多いという。

ピューロランド、パレード来月再開

サンリオピューロランド(東京都多摩市)は、ハローキティやマイメロディなどの人気キャラクターが飾り付けた台車(フロート)に乗ってパレードするイベントを6月17日から再開する。新型コロナウイルス禍で休止していたが、約3年ぶりに上演する。

同園を運営するサンリオエンターテインメント(同市)が発表した。「ミラクルギフトパレード」と呼ぶイベントは、「いちご王国」からやって来たハローキティなどのキャラクターが多数登場し、奇跡を起こすメルヘンの世界に誘うという設定。1日1〜2回、1回25分ほど上演する。コロナ禍前は同園で最も人気の高いイベントだった。映像を使った新たな演出も期間限定で加える。通常の入場券で観覧できるが、一部エリアは有料販売する。

# 新築投資用 一棟売レジデンス

つなぐ。答えへ。未来へ。

東急バブル

WELL SQUARE ウェルスクエア京都大宮仏光寺通

満室稼働